

日南市文化財調査報告書 第4集

平成23年度

日南市内遺跡発掘調査概報

2012. 3

宮崎県日南市教育委員会

平成23年度

日南市内遺跡発掘調査概報

- 1 飫肥城下町遺跡(前鶴地区個人住宅建設予定地)
- 2 平成23年度分取造林伐採搬出予定地
- 3 宮の元遺跡・郷之原城跡(樹木抜根作業予定地)
- 4 飫肥城下町遺跡(大手地区個人住宅建設予定地)
- 5 平成24年度分取造林伐採搬出予定地

2012.3

宮崎県日南市教育委員会

序

この報告書は、日南市教育委員会において、平成23年度に埋蔵文化財の有無を確認するために実施した発掘調査の概要報告書です。

日南市教育委員会では、市民共有の財産である文化財を保護するため、開発行為等に伴う市内遺跡の調査記録を行っております。平成23年度は5件の試掘・確認調査を行いました。いずれの調査も、開発事業者及び地元関係者の方々の御協力のもと、円滑に行うことができました。快く御協力くださった関係者の皆様に対し、心よりお礼申し上げます。

今後も、各種開発行為に伴う発掘調査等について、開発側等との十分な情報交換や協議などをすすめ、埋蔵文化財の保護に資するよう努力を重ねてまいりたいと存じます。本書が、今後の埋蔵文化財に対する理解と研究の一助になれば幸いです。

なお、調査から本書の刊行に至るまで、開発事業関係者並びに地元の方々、現地調査と整理作業に御協力くださった作業員の方々には、格別の御理解と御協力を賜りました。ここに厚くお礼を申し上げます。

平成24年3月

日南市教育長 安野 喜宏

例 言

1 本書は、平成23年度に日南市教育委員会が各種開発行為に先立ち、埋蔵文化財の有無を確認するために実施した発掘調査概要報告書である。

2 調査地及び調査期間は次のとおりである。

(1) 飫肥城下町遺跡(前鶴地区個人住宅建設に伴う確認調査)

日南市飫肥6丁目3862番

調査面積:14.8㎡ 現地調査:平成23年7月14日

(2) 平成23年度分取造林伐採搬出予定地(試掘調査)

日南市北郷町北河内

調査面積:20.64㎡ 現地調査:平成23年9月27日～12月22日

(3) 宮の元遺跡・郷之原城跡(樹木抜根作業に伴う確認調査)

日南市北郷町郷之原乙5202番地

調査面積:9㎡ 現地調査:平成23年12月6日

(4) 飫肥城下町遺跡(大手地区個人住宅建設に伴う確認調査)

日南市飫肥5丁目4105番8

調査面積:5㎡ 現地調査:平成24年1月11日

(5) 平成24年度分取造林伐採搬出予定地(試掘調査)

日南市北郷町北河内

調査面積:15㎡ 現地調査:平成24年1月25日～2月10日

3 調査主体・・・日南市教育委員会

教 育 長 安野 喜宏

文化生涯学習課長 岡本 武憲

補佐兼文化財係長 徳井 忠次

庶務担当……………主 査 平原 英樹

調査担当……………主 査 平原 英樹

調査作業員……………坂本生一、日高義明、山本忠幸、谷合 浩、
酒匂憲二、渡辺 功、梶谷京子、中竹スミ子

調査整理作業員……………井上 愛

4 現地調査は、平原が行った。

5 本書の執筆・編集は平原が行った。

本文目次

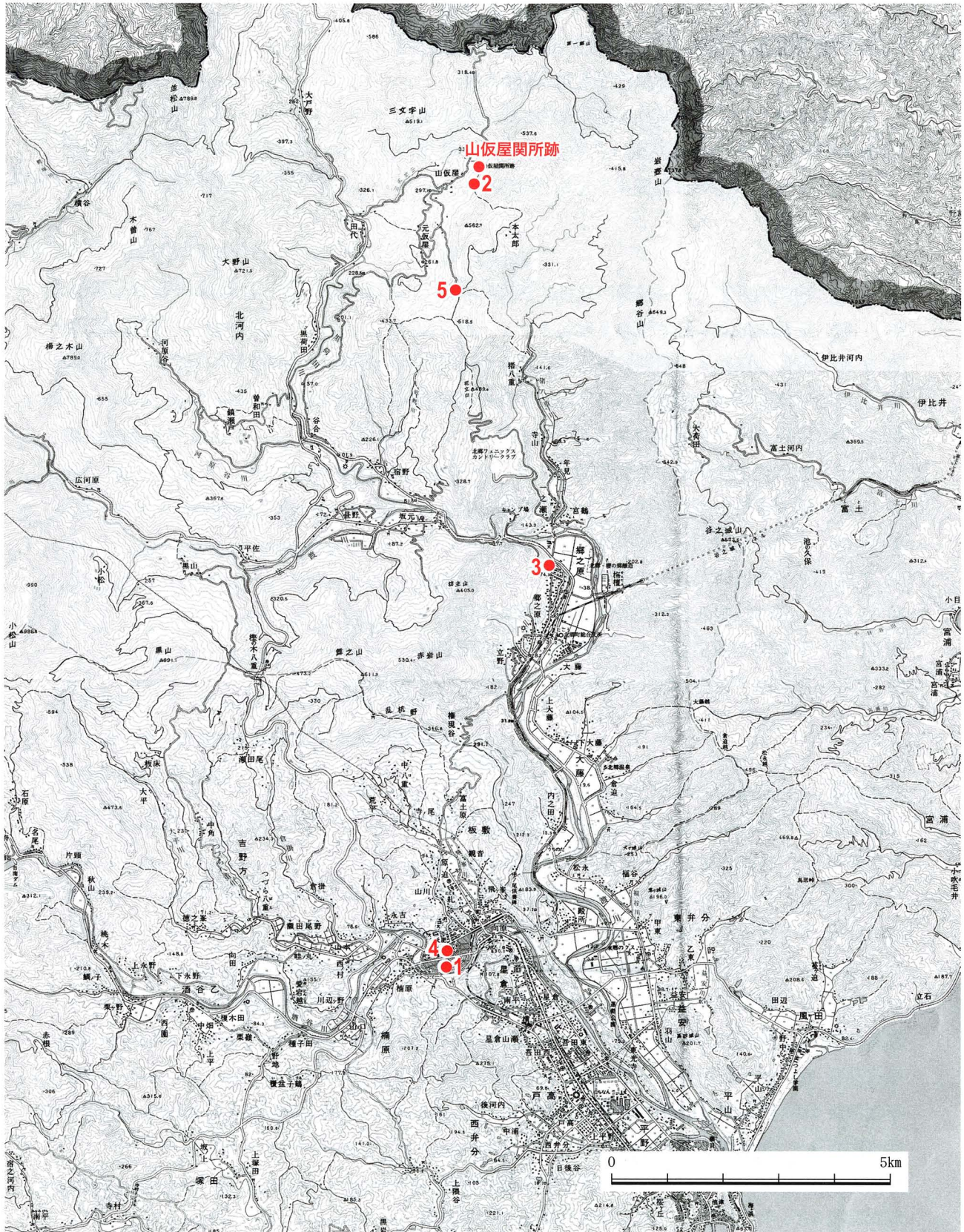
1 飫肥城下町遺跡(前鶴地区個人住宅建設に伴う確認調査).....	1
2 平成23年度分収造林伐採搬出予定地(試掘調査).....	6
3 宮の元遺跡・郷之原城跡(樹木抜根作業に伴う確認調査).....	13
4 飫肥城下町遺跡(大手地区個人住宅建設に伴う確認調査).....	16
5 平成24年度分収造林伐採搬出予定地(試掘調査).....	19

挿図目次

第 1 図 前鶴地区個人住宅建設予定地位置図.....	1
第 2 図 前鶴地区個人住宅建設予定地トレンチ配置図.....	2
第 3 図 前鶴地区個人住宅建設予定地土層断面図.....	5
第 4 図 平成23年度分収造林伐採搬出予定地位置図.....	6
第 5 図 平成23年度分収造林伐採搬出予定地トレンチ配置図.....	7
第 6 図 樹木抜根作業予定地位置図.....	13
第 7 図 樹木抜根作業予定地トレンチ配置図.....	14
第 8 図 大手地区個人住宅建設予定地位置図.....	16
第 9 図 大手地区個人住宅建設予定地トレンチ配置図.....	17
第 10 図 大手地区個人住宅建設予定地土層断面図.....	18
第 11 図 平成24年度分収造林伐採搬出予定地位置図.....	19
第 12 図 平成24年度分収造林伐採搬出予定地トレンチ配置図.....	20

写真図版目次

写真図版 1 前鶴地区個人住宅建設予定地全景.....	2
写真図版 2 前鶴地区個人住宅建設予定地調査状況(1).....	3
写真図版 3 前鶴地区個人住宅建設予定地調査状況(2).....	4
写真図版 4 平成23年度分収造林伐採搬出予定地全景.....	8
写真図版 5 平成23年度分収造林伐採搬出予定地調査状況(1).....	9
写真図版 6 平成23年度分収造林伐採搬出予定地調査状況(2).....	10
写真図版 7 平成23年度分収造林伐採搬出予定地調査状況(3).....	11
写真図版 8 平成23年度分収造林伐採搬出予定地調査状況(4).....	12
写真図版 9 樹木抜根作業予定地全景.....	14
写真図版 10 樹木抜根作業予定地調査状況.....	15
写真図版 11 大手地区個人住宅建設予定地全景.....	17
写真図版 12 大手地区個人住宅建設予定地調査状況.....	18
写真図版 13 平成24年度分収造林伐採搬出予定地全景.....	21
写真図版 14 平成24年度分収造林伐採搬出予定地調査状況(1).....	22
写真図版 15 平成24年度分収造林伐採搬出予定地調査状況(2).....	23
写真図版 16 平成24年度分収造林伐採搬出予定地調査状況(3).....	24
写真図版 17 平成24年度分収造林伐採搬出予定地調査状況(4).....	25



- 1 飢肥城下町遺跡(前鶴地区)
- 3 宮の元遺跡・郷之原城跡
- 5 平成24年度分取造林伐採搬出予定地

- 2 平成 23 年度分取造林伐採搬出予定地
- 4 飢肥城下町遺跡(大手地区)

調査地位置図(S = 1/100,000)

1 飢肥城下町遺跡(前鶴地区個人住宅建設に伴う確認調査)

〔位置と環境〕

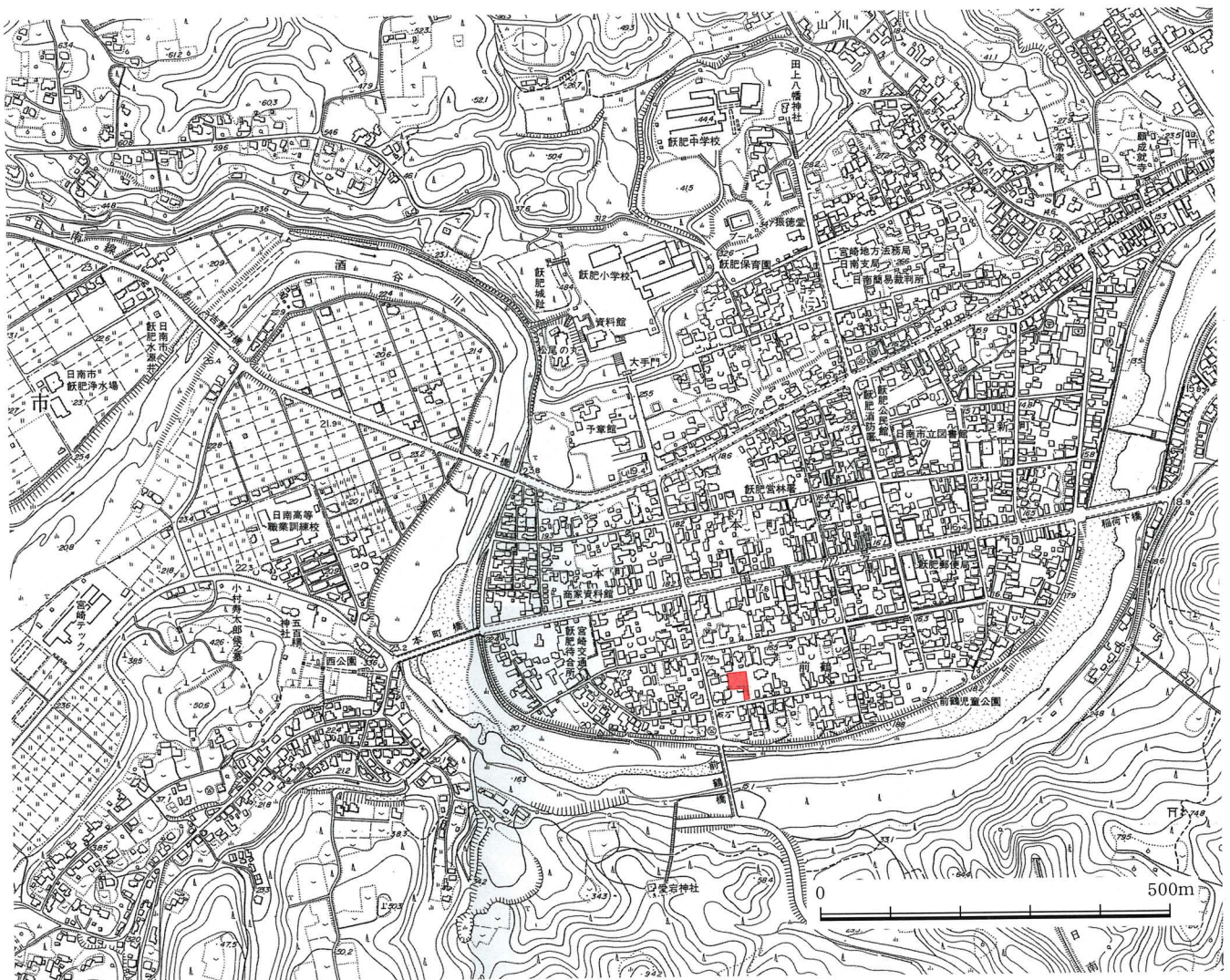
当該地は、日向灘から約8km内陸の小盆地にあり、周知の埋蔵文化財包蔵地である飢肥城下町遺跡内に所在する。約500m北には飢肥城跡があり、西側を酒谷川が大きく蛇行して南流する。鱈塚山系から流れ出た酒谷川は、城下町の西・南・東を蛇行して取り巻き、外堀の役割を果たしている。調査地は、飢肥城下町遺跡の南部を東流する酒谷川の北側に位置している。

〔調査の経緯〕

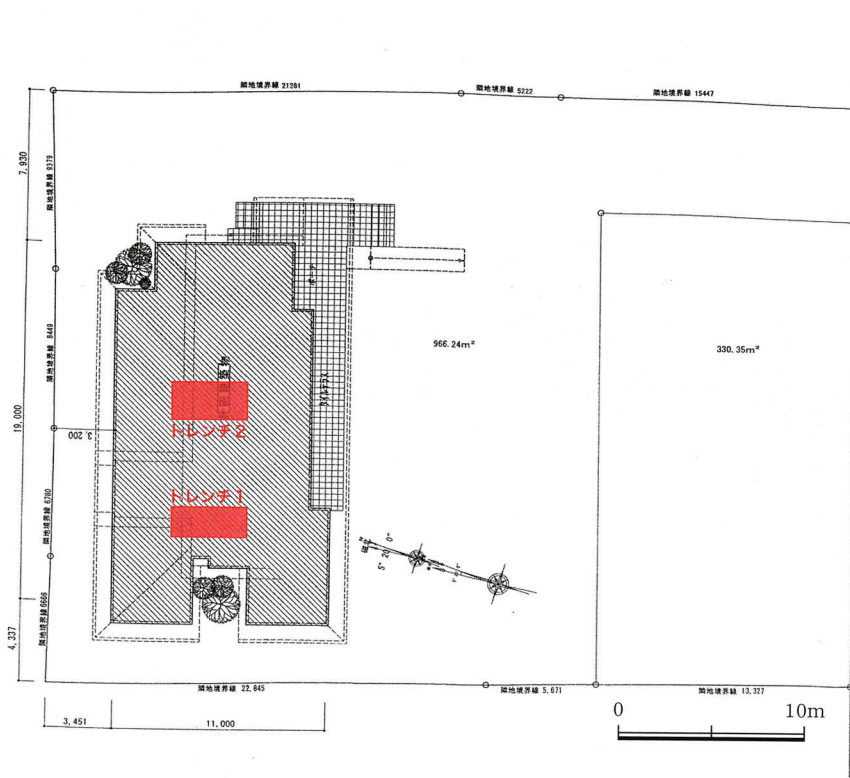
個人住宅の新築工事に伴い、確認調査を実施した。調査地に1.7m×4m及び2m×4mのトレンチを設置し、重機及び人力による掘り下げを行った。地表下約50～75cmまで掘り下げを行い、遺構・遺物の検出に努めた。

〔調査の結果〕

地表下約20～50cmまでは客土で埋められており、その下はしまりのある粘土質の層であった。遺構・遺物は確認されなかった。



第1図 前鶴地区個人住宅建設予定地位置図(S = 1/10,000)



第2図 前鶴地区個人住宅建設予定地トレンチ配置図(S = 1/400)



写真図版 1 前鶴地区個人住宅建設予定地全景



トレンチ1



トレンチ1土層堆積状況(北側)



トレンチ1土層堆積状況(南側)

写真図版2 前鶴地区個人住宅建設予定地調査状況(1)



トレンチ2

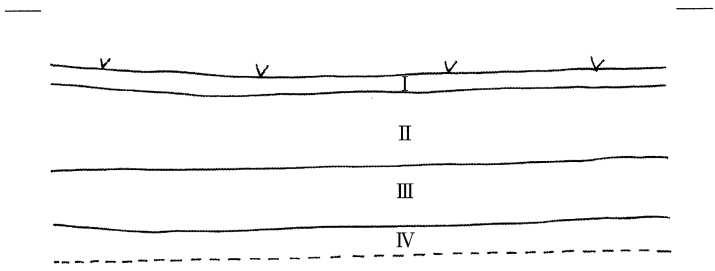


トレンチ2土層堆積状況



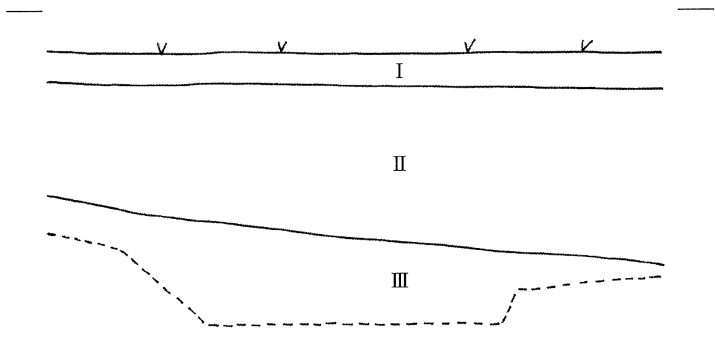
調査状況

写真図版3 前鶴地区個人住宅建設予定地調査状況(2)



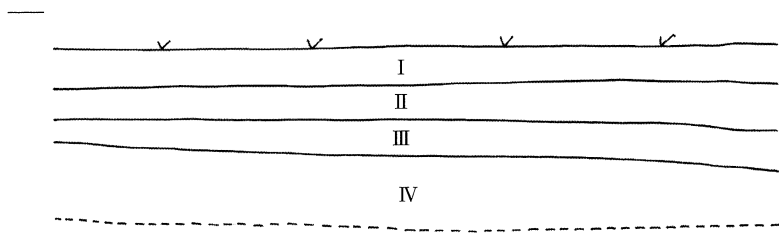
トレンチ 1 (北壁)

- 第 I 層 表土 (客土)
- 第 II 層 客土 しまりあり
- 第 III 層 灰色土 硬質 粘性あり
しまりあり
- 第 IV 層 黄褐色土 硬質 粘性あり
しまりあり



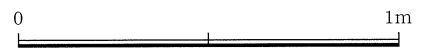
トレンチ 1 (南壁)

- 第 I 層 表土 (客土)
- 第 II 層 客土 しまりあり
- 第 III 層 黒褐色土 軟質 粘性あり
しまりあり



トレンチ 2

- 第 I 層 表土 (客土)
- 第 II 層 客土 しまりあり
- 第 III 層 黒褐色土 硬質
粘性なし しまりあり
2mm 程度の炭化物を含む
- 第 IV 層 灰黄褐色 硬質
粘性なし しまりあり
5mm 程度の炭化物を多く含む



第3図 前鶴地区個人住宅建設予定地土層断面図(S=1/20)

2 平成23年度分収造林伐採搬出予定地(試掘調査)

〔位置と環境〕

当該地は、日南市北郷町北河内に所在する市指定史跡「山仮屋関所跡」から南に約300m、標高約420mの地点に位置する。調査地は江戸時代の参勤交代路で、飢肥城下と飢肥藩領清武郷を結ぶ旧飢肥街道にあたる。周辺の国有林のほとんどが40年生のスギ人工林である。

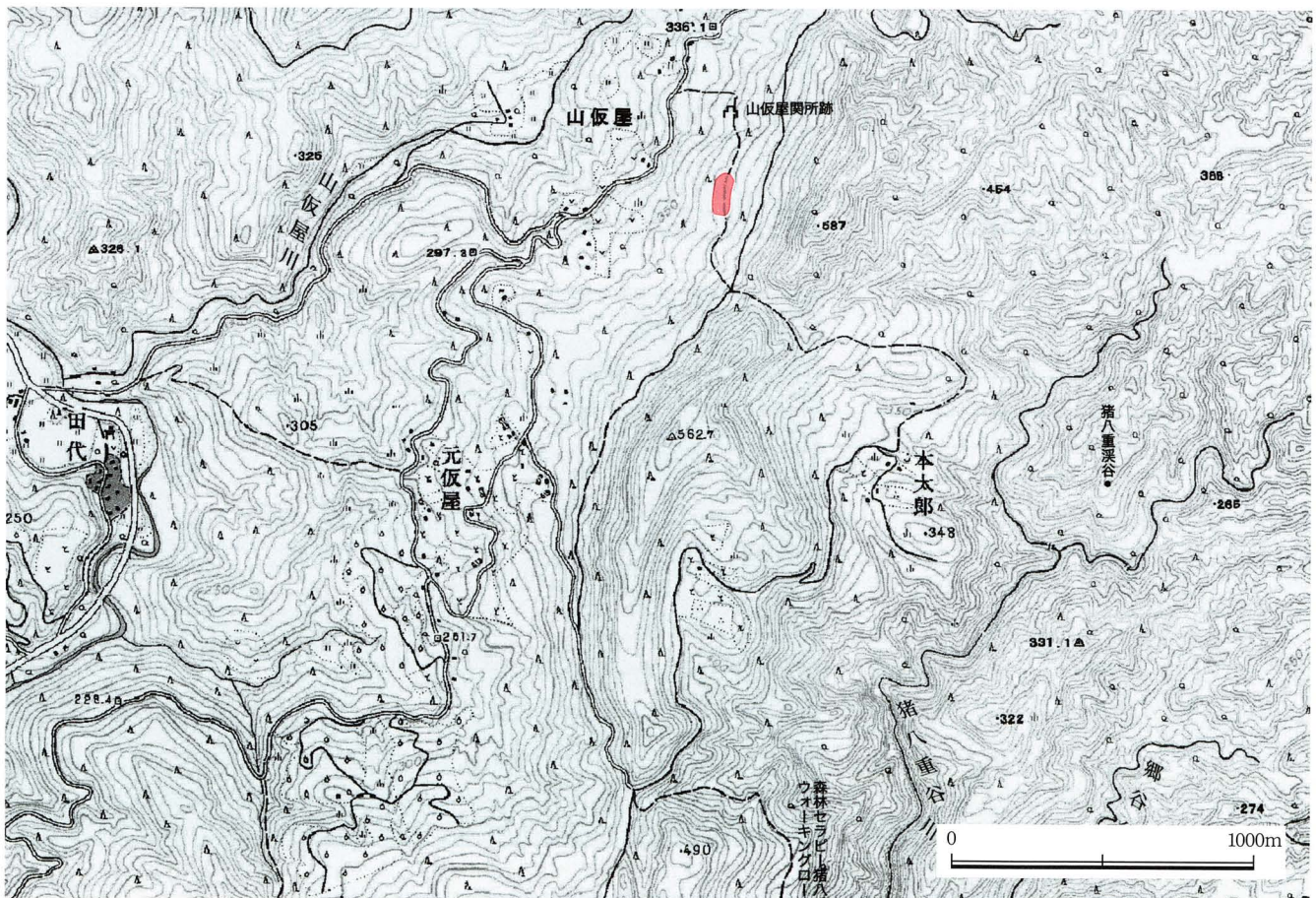
旧飢肥街道の保存活用については、平成15年3月に旧北郷町で歴史の道「飢肥街道」保存活用基本構想を策定し、山仮屋関所跡を含む約3.1kmの区間を保存活用対象区間と定め、年間を通して旧街道の草刈り・清掃作業等を行っている。

〔調査の経緯〕

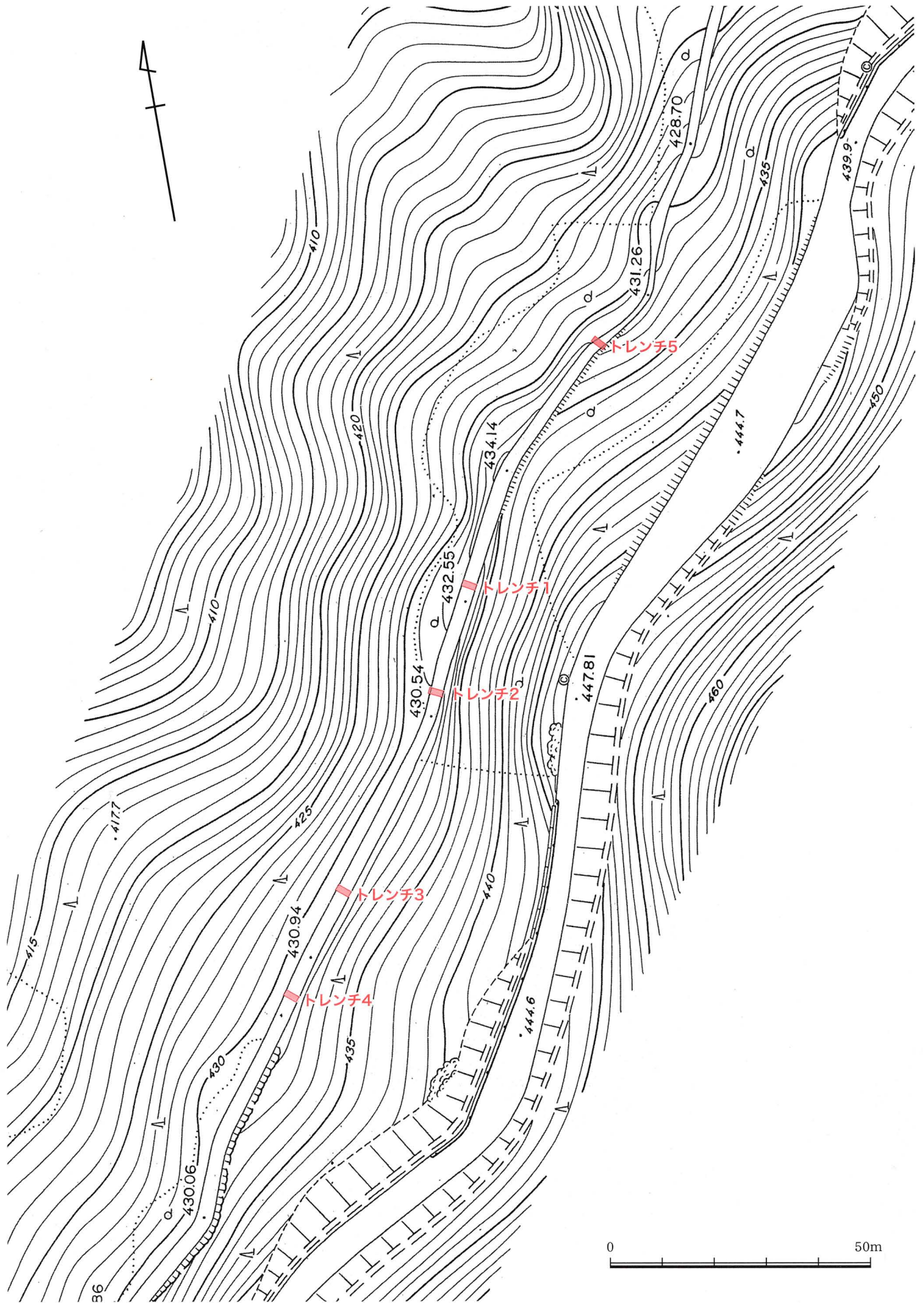
調査地周辺は、平成23年度の分収林公売地となっており、樹木の伐採・搬出時に旧飢肥街道を重機の搬出路として利用する可能性が高いため、旧街道及びその周辺部における試掘調査を実施した。調査地にトレンチを5ヶ所設置し、人力による掘り下げを行い、遺構・遺物の検出に努めた。

〔調査の結果〕

旧街道は部分的に崩壊箇所も見受けられるが、全体的には良好に残されている。いずれのトレンチからも遺物等は確認されなかった。道幅は広いところで約4.5mを測る。猪などの動物による地面の掘り返しのため、荒廃している部分も確認された。現地において伐採搬出業者に対し、旧飢肥街道保護の協力を依頼していたため、伐採搬出作業における旧街道の損傷はほとんどみられなかった。



第4図 平成23年度分収造林伐採搬出予定地位置図(S = 1/25,000)



第5図 平成23年度分収造林伐採搬出予定地トレンチ配置図(S = 1/1,000)



伐採状況



調査地全景

写真図版4 平成23年度分収造林伐採搬出予定地全景



トレンチ1調査前状況



トレンチ1完掘状況



トレンチ2調査前状況

写真図版5 平成23年度分収造林伐採搬出予定地調査状況(1)



トレンチ2完掘状況



トレンチ3調査前状況



トレンチ3完掘状況

写真図版6 平成23年度分収造林伐採搬出予定地調査状況(2)



トレンチ4調査前状況

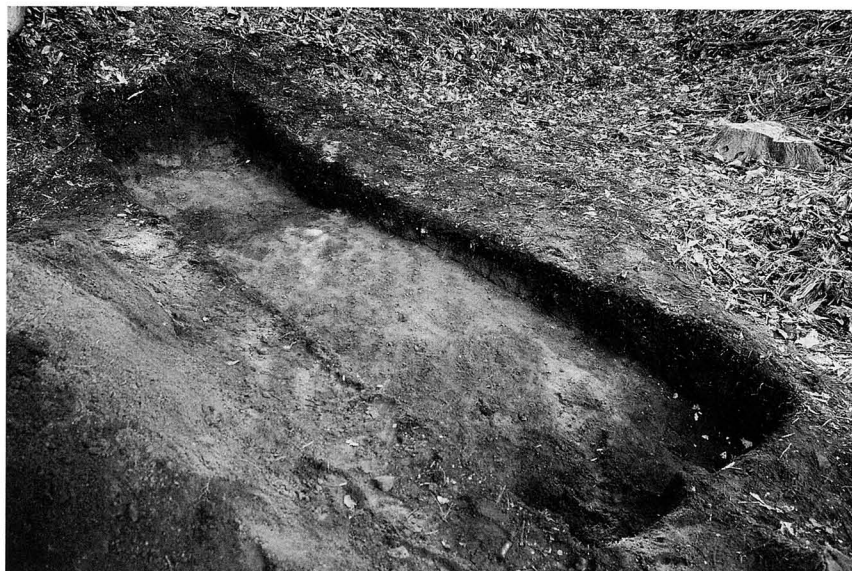


トレンチ4完掘状況



トレンチ5調査前状況

写真図版7 平成23年度分収造林伐採搬出予定地調査状況(3)



トレンチ5完掘状況



調査状況



土壌流出による崩壊箇所

写真図版8 平成23年度分収造林伐採搬出予定地調査状況(4)

3 宮の元遺跡・郷之原城跡(樹木抜根作業に伴う確認調査)

〔位置と環境〕

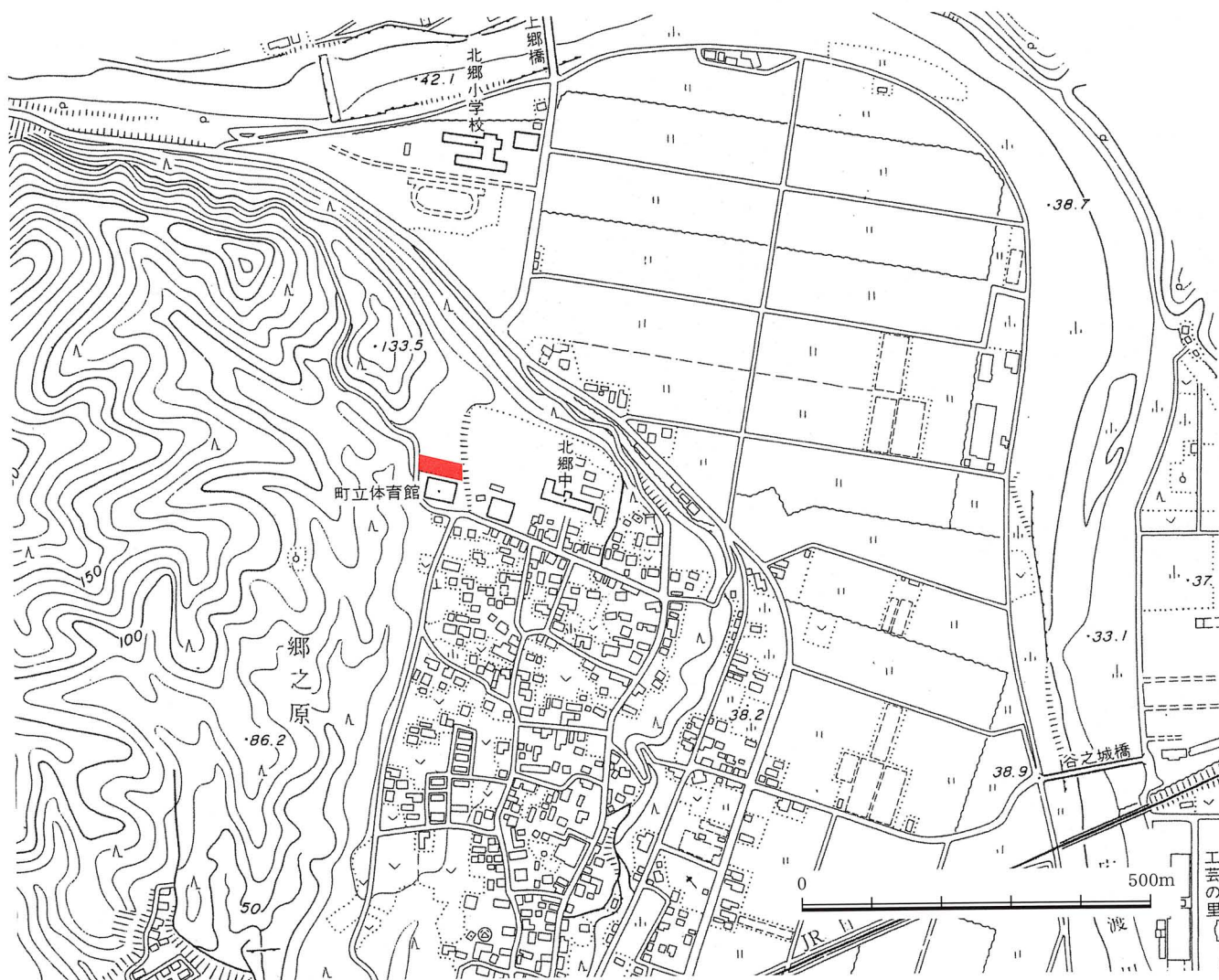
当該地は、周知の埋蔵文化財包蔵地である宮の元遺跡内に位置する。宮の元遺跡は北郷町の中心部である郷之原の台地上に所在し、遺跡の範囲内に郷之原城跡がある。南には妙満寺跡、太夫遺跡、伊十川遺跡など多くの遺跡が分布しており、郷之原の台地全体が遺跡の密集地帯となっている。宮の元遺跡は台地の北端に位置し、眼下には水田を挟んで広渡川を臨む。河川周辺の沖積地との比高差は約40mを測る。

〔調査の経緯〕

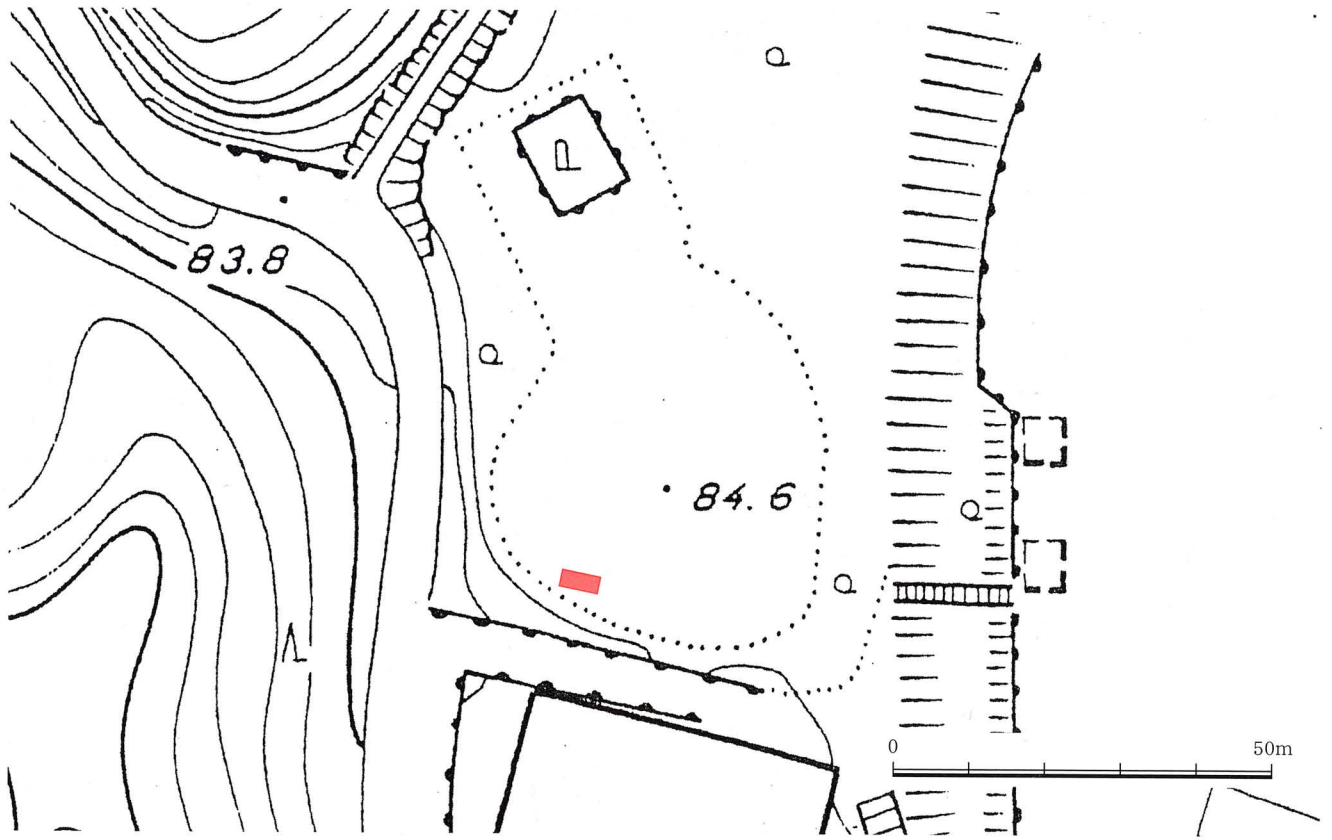
忠霊塔敷地内の樹木の伐採及び抜根作業に伴い、確認調査を実施した。調査は、1.8m×5mのトレンチを1ヶ所設置し、重機及び人力により地表下約1.5mまで掘り下げを行い、遺構・遺物の検出に努めた。

〔調査の結果〕

遺構・遺物は確認されなかった。



第6図 樹木抜根作業予定地位置図(S = 1/10,000)



第7図 樹木抜根作業予定地トレンチ配置図(S = 1/1,000)



写真図版9 樹木抜根作業予定地全景



トレンチ完掘状況



土層堆積状況(西側)



土層堆積状況(北側)

写真図版10 樹木抜根作業予定地調査状況

4 飢肥城下町遺跡(大手地区個人住宅建設に伴う確認調査)

〔位置と環境〕

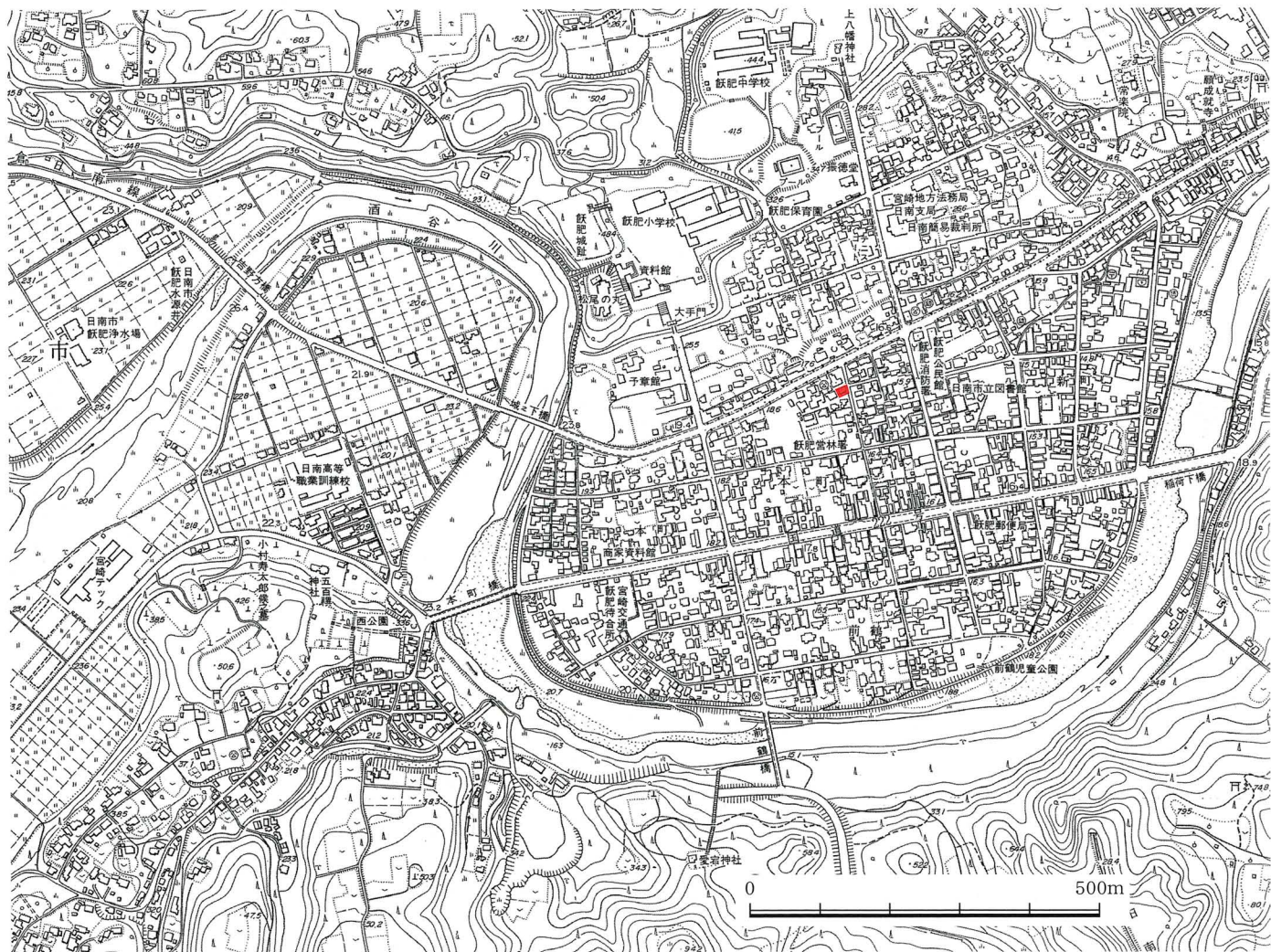
当該地は、飢肥の伝統的建造物群保存地区には含まれていないが、周知の埋蔵文化財包蔵地である飢肥城下町遺跡内に位置している。調査地周辺は、江戸期の城下図を見ると住宅と思われる区割りが詳細に描かれており、遺構・遺物が検出される可能性が高いと思われた。当該地は宅地であるが、現在は空き地となっている。

〔調査の経緯〕

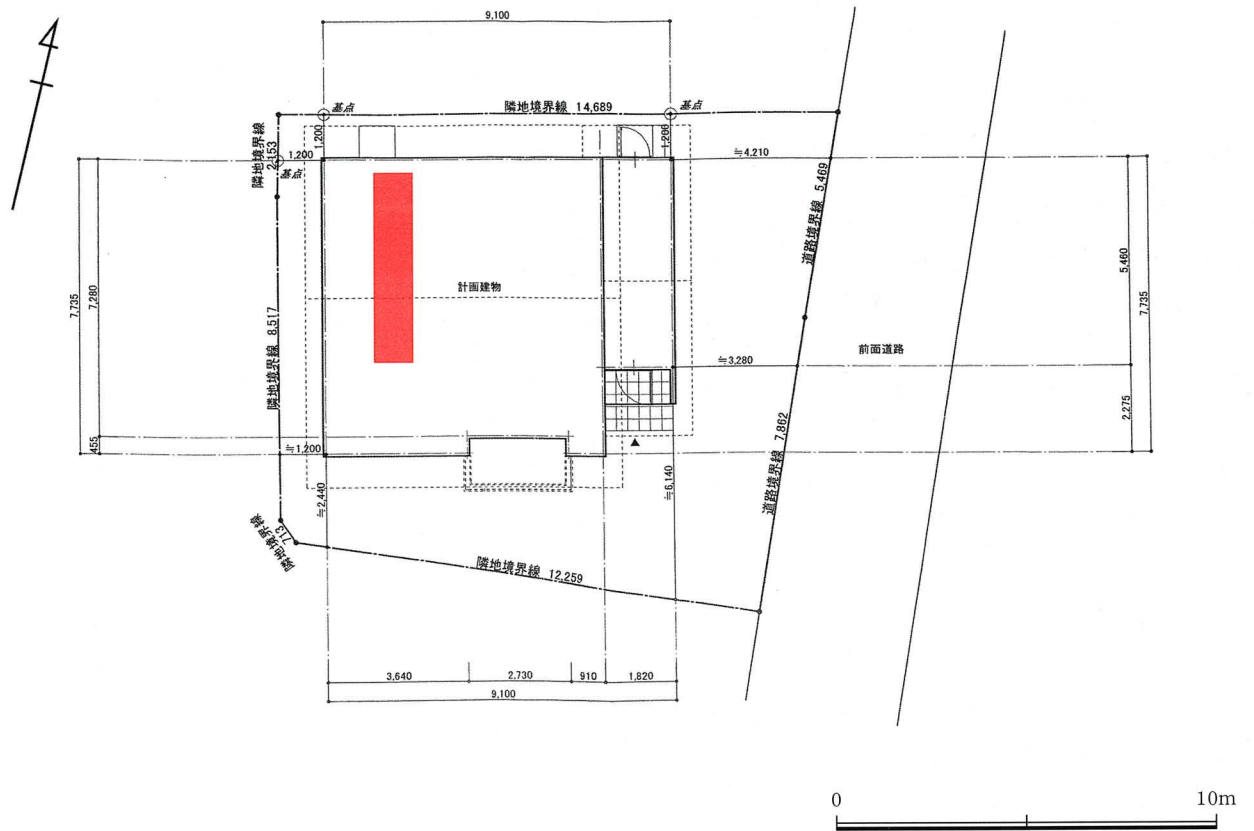
個人住宅の新築工事に伴い、確認調査を実施した。調査地に1m×5mのトレンチを1箇所設置し、重機及び人力による掘り下げを行った。地表下約70cmまで掘り下げを行い、遺構・遺物の検出に努めた。

〔調査の結果〕

地表下約60～70cm(第IV層)の間で近世の陶磁器の破片が30点ほど出土した。遺構は地表下約50cmの第IV層上面でピット1基(直径約20cm、深さ約30cm)を検出した。軟質で地盤が緩いため、レスピー工法による地盤強化の工事が必要とのことであったが、遺構・遺物は基礎部分より深い位置で確認されており、地盤強化の工事についても鋼管パイプの打設面積が工事平面積の1%未満であることから、本調査不要と判断した。



第8図 大手地区個人住宅建設予定地位置図(S = 1/10,000)



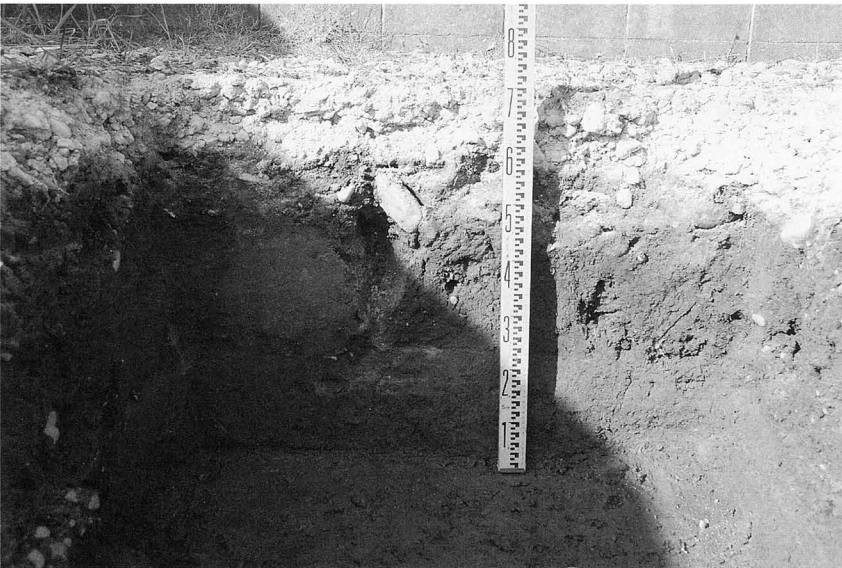
第9図 大手地区個人住宅建設予定地トレンチ配置図(S = 1/200)



写真図版11 大手地区個人住宅建設予定地全景

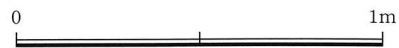
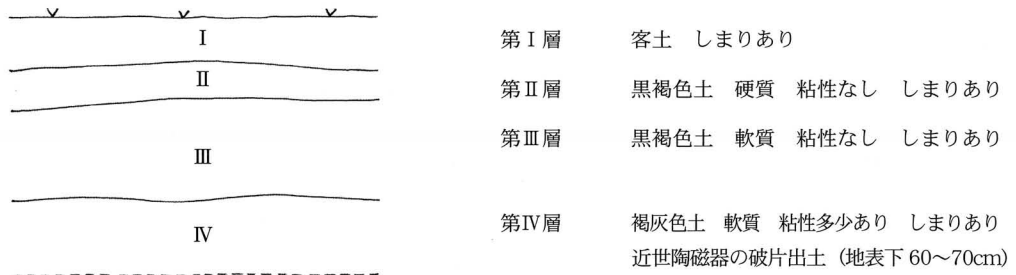


トレンチ完掘状況



土層堆積状況

写真図版12 大手地区個人住宅建設予定地調査状況



第10図 大手地区個人住宅建設予定地土層断面図(S=1/20)

5 平成24年度分収造林伐採搬出予定地(試掘調査)

〔位置と環境〕

当該地は、日南市北郷町北河内に所在する市指定史跡「山仮屋関所跡」から南に約2.5km、標高約420mの地点に位置する。調査地は、江戸時代の参勤交代路で飫肥城下と飫肥藩領清武郷を結ぶ旧飫肥街道にあたる。周辺の国有林のほとんどが、40年生のスギ人工林であり伐期を迎えている。

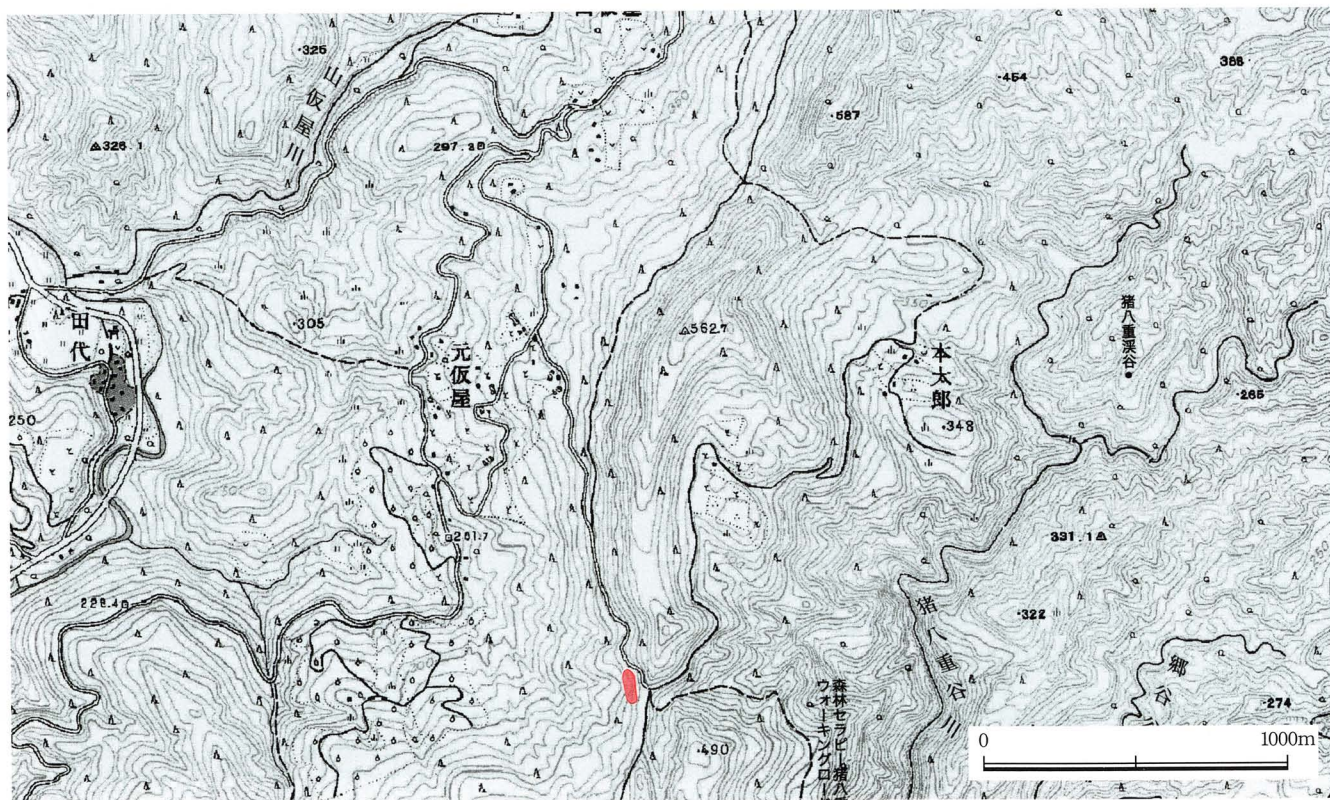
当該地には「串木寺権大僧都幸宥」と銘記された板碑があり、旧街道の脇に先達様として大切に祀られている。地元の人々はこの地を先達と呼ぶ。飫肥藩伊東家の重臣であった壹岐一族の中に碑文と同じ肩書きを持つ「幸宥法印」という人物がいる。この人物が伊東氏の本拠だった西都市の串木で寺を預かっており、系図には幸宥が伊東家の使者として飫肥城の島津氏を訪ね、その帰路に板碑付近で山賊に殺されたことが書き添えてある。伯父の壹岐加賀守儀元は永禄5年(1562年)の飫肥城攻防戦で戦死している。

〔調査の経緯〕

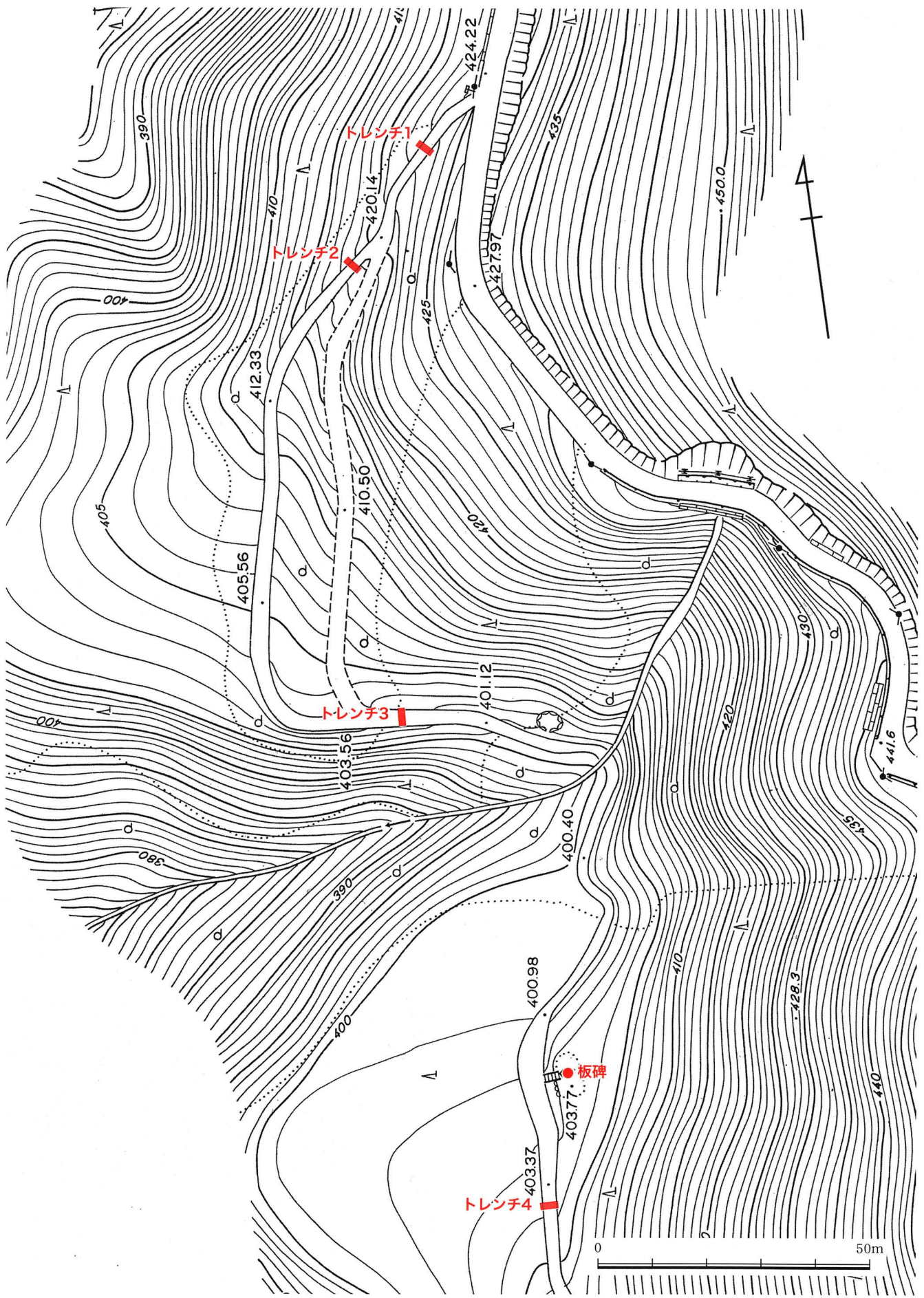
調査地周辺は、平成24年度に分収林公売地となっており、樹木の伐採・搬出時に旧飫肥街道部分を重機の搬出路として利用する可能性が高いため、旧街道及びその周辺部における試掘調査を実施した。調査地にトレンチを4ヶ所設置し、人力による掘り下げを行い、遺構・遺物の検出に努めた。

〔調査の結果〕

いずれのトレンチからも遺物等は確認されなかった。切り通しの部分は道幅が狭くなるが、道幅は広いところで約4.5mを測る。旧街道については、谷側に崩落による決壊、山手側に土砂による埋土が見受けられるものの、全体的には良好な状態で残っている。



第11図 平成24年度分収造林伐採搬出予定地位置図(S = 1/25,000)



第12図 平成24年度分収造林伐採搬出予定地トレンチ配置図(S=1/1,000)



市道と旧道の合流地点



旧街道沿いの伐採予定地



トレンチ1調査前状況



トレンチ1完掘状況



トレンチ2調査前状況

写真図版14 平成24年度分収造林伐採搬出予定地調査状況(1)



トレンチ2完掘状況



トレンチ3調査前状況



トレンチ3完掘状況

写真図版15 平成24年度分収造林伐採搬出予定地調査状況(2)



トレンチ4調査前状況



トレンチ4完掘状況



旧街道崩壊箇所

写真図版16 平成24年度分収造林伐採搬出予定地調査状況(3)



旧街道崩壊箇所



旧街道崩壊箇所



切り通し箇所

写真図版17 平成24年度分収造林伐採搬出予定地調査状況(4)

報告書抄録

ふりがな	にちなんしないいせきはつくつちょうさがいほう						
書名	日南市内遺跡発掘調査概報						
副書名							
巻次							
シリーズ名	日南市文化財調査報告書						
シリーズ番号	第4集						
編集機関	宮崎県日南市教育委員会						
所在地	〒887-8585 日南市中央通一丁目1番地1						
編集担当者	平原英樹						
発行年月日	2012年3月						
フリガナ 所収遺跡名	フリガナ 所在地	市町村 コード	北緯	東経	調査期間	調査面積	調査原因
オビジョウカマチイセキ 飢肥城下町遺跡	日南市 飢肥	45204	31° 37' 25" 付近	131° 21' 13" 付近	2011.07.14	14.8㎡	個人住宅 建設予定地
ミヤノモトイセキ 宮の元遺跡 ゴウノハラジョウアト 郷之原城跡	日南市 北郷町 郷之原	45204	31° 41' 16" 付近	131° 22' 23" 付近	2011.12.06	9㎡	樹木抜根 作業予定地
オビジョウカマチイセキ 飢肥城下町遺跡	日南市 飢肥	45204	31° 37' 36" 付近	131° 21' 15" 付近	2012.01.11	5㎡	個人住宅 建設予定地
収蔵遺跡名	種別	主な時代	主な遺構		主な遺物		特記事項
飢肥城下町遺跡	城下町	近世	なし		なし		
宮の元遺跡 郷之原城跡	散布地	縄文 中世	なし		なし		
飢肥城下町遺跡	城下町	近世	ピット		陶磁器、近世土器		

日南市文化財調査報告書 第4集

平成23年度 日南市内遺跡発掘調査概報

2012年3月

編集発行

宮崎県日南市教育委員会

〒887-8585 日南市中央通一丁目1番地1

電話番号 0987-31-1145

印刷

株式会社おび印刷

〒889-2514 宮崎県日南市大字楠原下耕整141-1

電話番号 0987-25-1680

